

会議の経過	
開会年月日時刻	令和 6 年 9 月 2 7 日（金） 午後 3 時 0 0 分
閉会年月日時刻	令和 6 年 9 月 2 7 日（金） 午後 4 時 3 6 分
会議の場所	向井千秋記念子ども科学館 会議室
会議次第	
1. 開会 2. 会議録署名委員の指名 3. 前回会議録の承認 4. 教育長事務報告 5. 議事 報告第 4 号 館林市教育委員会教育長職務代理者の指名について 議案第 5 5 号 館林市立図書館協議会委員の委嘱について 議案第 5 6 号 館林市奨学資金貸与に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 5 7 号 館林市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 報告第 5 号 館林市教育委員会事務局人事について (非公開) 議案第 5 8 号 令和 6 年度教育委員会表彰について (非公開) 議案第 5 9 号 県費負担教職員の人事について (非公開) 6. その他 7. 閉会	

会議の経過			
出席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番	木戸浩之 栗原昇 金子千秋 川島健治 堀口哲哉	
欠席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番		
提案説明のため 出席した者	教育長 教育次長 教育総務課長兼学校給食センター所長 生涯学習課長 参事兼学校教育課長 文化振興課長 スポーツ振興課長 向井千秋記念子ども科学館長 図書館長 総括係長 書記	川島健治 戸叶俊文 木村和好 廣澤篤行 平井智久 中村豊 高橋一哲 石崎治 森田秀利 荒川博一 横山瑠璃子	

会議の経過	
教育長	それでは、定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 (午後 3 時 0 0 分) 本日の日程は別紙のとおりです。 次に、日程第 2 会議録署名委員を指名します。 今回の署名委員は 1 番 木戸委員、2 番 栗原委員を指名いたします。 次に、日程第 3 前回会議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議ないものと認め、そのようにいたします。 次に、日程第 4 教育長事務報告をいたします。 一般事項(1) 館林市議会令和 6 年第 3 回定例会が、9 月 6 日から 9 月 26 日まで行われました。まず、議案といたしまして、「教育委員会委員の任命について」がありました。金子千秋委員が 9 月 30 日をもって任期満了となるため、後任として井上美智子さんの任命が議会に同意されました。また、過日の教育委員会で審議・承認いただいた、令和 6 年度一般会計補正予算のほか、令和 5 年度館林市歳入歳出決算の認定について、などが可決されました。一般質問では、11 名の議員が質問を行いました。教育委員会関係では 3 名の議員から質問を受け、吉野議員については私から、堀口議員、田辺議員については教育次長から答弁いたしました。まず、堀口議員からは「各種スポーツ大会補助について」の質問を受け、各種スポーツ大会における個人及び団体の出場実績や参加費補助金交付制度に係る考えなどについて答弁いたしました。次に、田辺議員からは「小学校・中学校体育館のエアコン設置について」の質問を受け、各校における設置状況や現状の対策と課題、更には今後の整備に関する考えについて答弁いたしました。最後、吉野議員からは「自殺された市内中学生の結論の公表について」の質問を受け、市内中学校で発生した事案に関するその後の状況などについて答弁いたしました。私からの報告は、以上でございます。続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	議案書の記載事項の一部訂正をお願いいたします。36 ページの学校給食 8 月分の表でございます。こちらの総合計が 10 万飛んで 808 人となっ

会議の経過	
	ていますが、8月分は述べの給食が2日間しかありませんので、この数字が間違っております。正しくは1万飛んで808人となります。大変申し訳ございません。訂正をお願いいたします。
教育長	そのほかにございますか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	大変申し訳ございませんが、私の方も議案書の訂正をお願いいたします。13ページになります。上段③のイの部分を、C4th新バージョンの活用についてと訂正をお願いいたします。よろしくお願いいたします。
教育長	2点ほど訂正をお願いいたします。そのほかにございますか。 (事務局から「なし」の声あり)
教育長	それでは今回の事務報告につきまして、質疑がありましたらお願いしたいと思えます。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	3ページの市民大学講座について、私も第1回目に参加しました。例年より参加者が少ないような印象を受けました。その点、例年と比べていかがでしょうか。また、講師は魅力ある方々なのですが、参加者を増やす対策として何か生涯学習課の方でされていることはありますか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。参考までに、令和5年度は600枚チケットを用意しまして、525名の方にご購入いただきました。今年度につきましては、現在販売の方が397枚の販売数となっております。9月18日(水)の第1回に行われた講演会につきましては、開催前の悪天候により、参加を見合わせた方も多かったのではないかと推察しております。参加者数は299名でした。販売が思わしくないことから、実行委員と職員で共に各種市の催し物や館林駅東西連絡通路にて、また、企業等の集まりに出席させていただきPRしたところですが、なかなか売上には至っていないような状況になっております。以上でございます。
栗原委員	せっかくの良い講座なのですが、大ホールということもあってか参加者が少なかった印象を受けました。また、開催時間が1回だけ2時からになっていますが、いつも7時からなのでその辺りを工夫していただければと思います。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。

会議の経過	
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	同じく 3 ページで、8 月 2 4 日の少年の主張東毛地区大会が館林市で開催されたと思いますが、参考までに結果を教えてくださいと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。8 月 2 4 日（土）に行われました東毛地区大会ですが、こちらには第一中学校と第二中学校の生徒 2 名が参加されました。そのうち 1 名は最優秀賞、もう 1 名は優秀賞を受賞されました。なお、その後県大会が 9 月 2 1 日（土）に行われまして、1 名が努力賞を受賞されました。以上でございます。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	2 ページの後援事業に平和のつどいというものがありますが、どのような内容か教えてくださいと思います。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	こちらにつきまして申請者からの書類を基にご説明しますと、まず目的が戦争と平和について多くの若い世代に知ってもらいたい、そして未来について考えるきっかけを作りたい、というものでございます。内容は記念講演会、こちらの講師はイスラエル軍の元兵士だそうです。そしてもう 1 つが、市内中学生の平和の作文を朗読する、となっております。そのほか、戦争に関する展示などを行うといった申請内容となっております。以上でございます。
堀口委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	先ほどの少年の主張のお話に戻るので申し訳ないのですが、参加人数が 9 5 名ということで、館林市を会場として行われたわけですね。そうしますと、もう少し館林市の子どもたちが聴く機会などを設けても良かったのかなと個人的に思いました。この少年の主張というのは県大会で終わりののでしょうか。

会議の経過	
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	まず、お客さんが少ないというところで、そちらにつきましては学校等にも周知を図りながら参加者数を多くできるよう進めていきたいと思います。今回は少年の主張東毛地区大会が8月24日に、県大会が9月29日に行われましたが、その後は全国大会という形になります。以上でございます。
金子委員	関東大会ではなくて直接全国に行くということですね。わかりました。日常の中で子どもたちが普段思っていることなどについて、各校・各地区の代表のお話が聴けるというのは非常に良いことですので、可能な限り子どもたちにも参加を求めた方が良いと思い、お話をさせていただきました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	5ページの中部公民館で行われたキッズチャレンジャー隊防災合宿の内容と、参加者の様子等を教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。8月23日（金）の午後2時から8月24日（土）の午前10時まで、中部公民館全館を使って実施いたしました。中部公民館に属する少年教室のキッズチャレンジャー隊の一環として実施しており、隊員9名が参加しました。そのほか、保護者が2名、ボランティアが5名、職員も含めて総勢で20名の方が参加したものです。内容ですが、防災士2名を講師に迎えまして、災害時を想定した環境や食事等を通して防災について学びました。例えば、ダンボールを使っての寝床作りや紙パック食器作り、簡易トイレの組立方法のほか、災害時に各自が何か1つ必要と思われる物を持って来ていただき、その物を持って来た理由について発表を行ったそうです。そのほか、アルファ米を使ったご飯を作ったり、災害はいつ起こるかわからないので、中部公民館内の避難経路の確認も兼ねて肝試しを実施いたしました。また、災害時にはお風呂に入れないこともあり、足湯を行ったりハザードブックを使った水害に対する講座を実施いたしました。参加者等につきましては、特に改めて聞いたりはしなかったようなのですが、皆さん楽しみながら率先して動いたり、協力し合ったり、意見を言ったりして体験していたとのこと。以上でございます。

会議の経過	
栗原委員	小学生がメンバーということですね。非常に良い取組だと思うので、ほかの公民館でも取り上げられればいいなという気がしました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	7ページと8ページですが、分福公民館で8月31日に家庭教育学級のプログラミング講座が開催されまして、城沼公民館の方では8月21日に夏休み音楽教室の中でプログラミング教室が開催されています。それなりに参加されていると思いますが、それぞれどのような体制で、どのような内容で行ったか教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	各講座の目的といたしまして、社会のICT化は今後更に加速すると予測されていることから、プログラミングの知識やICT機器のリテラシーは一生役立つスキルと考えられるため、子どものうちからICT機器に触れることでコンピューターが身近な存在として感じられ、抵抗が少なくなるように実施したものでございます。まず分福公民館ですが、こちらにつきましては美園小学校の家庭教育学級の学級生を対象に、親子プログラミング教室を実施いたしました。午前・午後の2回に分かれて行いまして、午前の部に児童8名、保護者6名の計14名、午後の部に児童9名、保護者6名の計15名、合計29名の方が体験しました。内容ですが、教育版の「マイクラフト」という体験プログラムを活用し、親子でプログラミングを学んだ状況でございます。講師の職員がプロジェクターで画面を投影し、説明しながら進行したそうです。仮想世界のロボットにプログラムで指示をし、仮想世界の村の困り事を解決しながら多様性の大切さを学ぶという、そういった内容でございました。続きまして、城沼公民館の夏休みわくわく教室プログラミング教室についてご説明します。第二小、第三小学校の1年生から6年生を対象に実施いたしました。ソフトは、「スクラッチ」と「ビσκεット」という、2種類の内容を体験しました。2つとも遊びながらプログラミングの基礎を学べるものでございます。講師は向井千秋年子ども科学館の職員にお願いしました。以上になります。
木戸委員	小中学校でプログラミングを学ぶことが数年前から始まったと思いますが、そういったものがこの講座や教室には関係しているのでしょうか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。

会議の経過	
学校教育課長	小学校のプログラミングの内容等を少しお話させていただきます。例えば、小学校5年生の算数では正多角形の意味や性質を理解して、それに基づいて正多角形をコンピューター上にプログラミングして書くなどの授業を行っております。また、小学校6年生の理科では身の回りにある電気の性質や働きを利用した道具についてプログラミングを通して学習します。中学校では計測や制御のプログラミングということで、技術の授業で音や温度、明るさといったセンサーの性質等についてプログラミングを通して学習する、そのような授業を行っている状況です。以上でございます。
木戸委員	では、公民館で行う講座は学校のプログラミング授業を補完するようなものではなくて、また別のものということですね。わかりました。
生涯学習課長	おっしゃるとおりで、この公民館だけで完結するプログラミング体験という形になります。
木戸委員	将来の子どもたちにとってプログラミングはIT関係の仕事に就く就かないにかかわらず、社会人になる上では論理的な考え方を身に付けるために非常に役に立つのかなと感じますので、夏休み等を使って提供する機会を多く作っていただければと思います。引き続きよろしくお願いします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	6ページと7ページで、8月27日に六郷公民館のいきいき学習塾で行った「フレイルってなあに」の内容と、8月2日に城沼公民館で行ったわくわく教室の「ソーラークッキング」はどういったものか教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	はじめに、六郷公民館で行われましていきいき学習塾からお答えさせていただきます。フレイルとは、身体的・精神的な様々な機能の衰えなどにより、健康な状態と介護が必要な状態の中間的な状態になることをいいます。今回は高齢者教室の一環で行いまして、講師に羽生総合病院のリハビリテーション科の作業療法士の先生をお迎えして実施いたしました。フレイルの悪循環というものがございまして、足の筋肉量が減ると歩く速度が落ちたり、疲れやすくなって活動量が減ったりします。活動量が減ると消費エネルギーが減るため、食欲もなくなり低栄養の状態になる、そういった悪循環がますます増していく状況に陥るそうです。しかしながら、フレイルは可逆性がございまして、元に戻すこともできるそうです。そのため

会議の経過

堀口委員 教育長 金子委員 教育長 金子委員	には栄養摂取、身体活動、社会参加の3つに取り組むことが重要であると おっしゃっておりました。続きまして、ソーラークッキングについてお答 えいたします。同事業につきましては、「エコサポ」という群馬県地球温 暖化防止活動推進センターの出前講座を利用したものでございます。講師 の先生に太陽光を中心に集めて調理できる道具を用意していただき、それ を使って飯ごう炊飯を行いました。同時に、レトルトカレーを温めること でカレーライスの試食をすることができました。ご飯が炊き上がる時間は 90分ほどかかるため、その間は講師の先生2名から環境問題について学 ぶ時間としました。以上でございます。 わかりました。ありがとうございます。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、金子委員。
文化振興課長 教育長 文化振興課長	17ページの10月行事についてです。10月14日に第37回市民のつ どい「緑のコンサート」とありますが、なぜこちらの会場をあえて選んだ のでしょうか。また、このコンサートはどういった方々が参加されるので しょうか。 はい、教育長。 はい、文化振興課長。 まず、市民のつどい全体のお話をさせていただければと思います。お手元 のチラシをご覧ください。例年は市役所周辺で行っていたものです。台風 19号やコロナで4年間中止になり、昨年久しぶりに復活したのですが、 大雨の日だったのでだんだん役所の中で参加する部署が縮小傾向になっ てしまいまして、今年は役所内で調整したところ5つの課が参加すること になりました。そうした中、市役所周辺では非常に寂しいなということで、 スポーツ振興課のスポレク祭が今年は本格的に開催するということもり、 そちらをメイン会場として、文化振興課は体育館の軒先をお借りして開催 することになりました。緑のコンサートに話を戻しますと、吹奏楽が演奏 しやすく、できれば屋根があって観客の方が集まりやすいスペースをいろ いろ探ったところ、体育館の正面玄関脇のスペースが演奏しやすいという ことでした。正面には階段もあって段々になっている箇所がありますの で、観客の方もそちらを使いながら演奏を楽しむことができるかなという ことで、こちらの会場設営を考えてございます。来年以降の話をさせてい ただくのですが、実は市民のつどいそのものは一旦終了させていただい て、10月のスポーツの日はスポレク祭がメインイベントになっていく予

会議の経過	
	定です。そこに今回参加した５つの課が引き続き参加するかどうかは今検討しているところですが、参加する課もあれば、あるいは別の日に違う事業と統合して実施する課もございます。それぞれの状況に合わせて事業展開をしていく予定になっております。ちなみに、緑のコンサートについて、参加団体からはやはりホールの中でやりたいという強い要望があります。芸術ホールや文化会館のカルピスホールといった、ちゃんとしたホールで演奏したいという強い要望があるものですから、来年は別の日にホールの中で中学生等の演奏を楽しんでいただくような、まだ名称は決まっていないのですが、吹奏楽祭的なものを今検討しているところです。以上でございます。
金子委員 文化振興課長	城沼アリーナを使う方々には支障がないのでしょうか。 その辺りはスポーツ振興課と調整しております。週明け、現地でもう一度関係者を集めて調整する予定になっておりまして、ご迷惑にならないように上手にできればと思っております。
金子委員	せっかく子どもたちの発表の場ですから、多くの方々に聴きにきていただければいいなと思います。私も参加したいと思っております。ありがとうございました。
スポーツ振興課長 教育長 スポーツ振興課長	はい、教育長。 はい、スポーツ振興課長。 スポレク祭につきましてはこれまでの市民総合体育祭に変わって開催する事業ということで、昨年度にプレ大会を行いました。先ほどお話がありましたように、昨年は雨天の関係で屋内の競技しかできなかったのですが、今回につきましては屋外も含めて市制施行７０周年記念の第１回スポーツレクリエーション祭として開催いたします。ぜひ委員の皆様にも体育館の方にお越しいただければと思います。また、市制施行７０周年記念として巨大手形プロジェクトというものを行います。スポーツではありませんが、そういったイベントを併せて開催する予定でおります。以上です。
金子委員 教育長 栗原委員 教育長 栗原委員	わかりました。ありがとうございます。 そのほか、いかがでしょうか。 はい、教育長。 はい、栗原委員。 ６ページと７ページに戻りますが、例えば城沼公民館や渡瀬公民館、六郷公民館では、夏休み中ということもあって子どもを対象にした陶芸教室や書道、あるいはクールスタディなどの多くの事業を行っています。反対に、子どもを対象にした講座は１回程度でほとんどないような公民館もあり、

会議の経過	
生涯学習課長	格差があるなというのが感想です。どのような事業を行うかは、各公民館で決定していることなののでしょうか。
教育長	はい、教育長。
生涯学習課長	はい、生涯学習課長。
栗原委員	お答えいたします。事業を行うにあたっては公民館長及び公民館主事等が打合せをして実施するのですが、公民館には公民館活動推進委員という、地元区長や学校長、地域団体の長、各公民館利用団体等から構成される組織がございます。年間の事業計画等を作成する際には、そういった委員の意見等も踏まえた形で事業実施を進めているような状況です。以上です。子どもを対象にした事業については、市民目線からすると少々格差があるように感じました。全く同じにはできないと思いますが、機会均等のような視点から公民館の館長会議や主事会議等でも少し足並みを揃えられるようにできればいいなと思います。夏休みに子ども対象の事業がないのは少々残念だと感じました。
生涯学習課長	館長会や主事会でその旨お諮りしたいと思います。よろしくお願いいたします。
栗原委員	よろしくお願いいたします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	10ページ下段に東武鉄道館林駅と列車内補導についての打合せという記載があります。コロナ禍では実施されていなかったと思うのですが、列車内補導を行う時間帯などを含めて、どのような形で行われるか教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。列車内補導ですが、恐らく5年ぶりの開催になるかと思っております。時期的には9月末から10月上旬を予定しております。館林高校や館林女子高校の下校時間帯に合わせて実施するものでございます。今年度は、本日9月27日（金）に館林駅16時29分発の東武小泉線の館林駅から西小泉駅間で実施する予定となっております。乗車時間は往復で40分程度となっております。補導センターの補導員及び役員9名、館林警察署員が1名、事務局3名の13名が参加予定となっております。実施内容としましては、高校生の見守り、乗車されている方たちのマナー、そういったものをチェックしているような状況でございます。

会議の経過	
木戸委員	時間帯や場によっても異なるのですが、基本的には学生に対しての補導ということでしょうか。
生涯学習課長	おっしゃるとおり、学生の乗車状況を中心にチェックしながら補導活動をしている状況でございます。
木戸委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	12ページと13ページの英語村イベントについてです。小学生対象の英語村では125名とたくさんの方が参加しておりますが、中学生になりますと9名ということで、小学生に比べると参加者が少ないなと感じます。何か理由等があるのでしょうか。教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	お答えします。理由としましては、今年度から委託業者が変更になり、その業者にチラシ作成をお願いしたのですが、作成が非常に遅かったことから学校への配布が遅くなってしまったのが1つの原因と考えております。また、一つの意見として挙がったのは、イベントの魅力が不足していたということです。13名の参加があった昨年度は「英語村の職場体験」というテーマだったのですが、今年度は「イングリッシュキャンプ」というテーマで行いました。テーマの魅力もそうですが、イベントに参加した時に何を得られるのか、何を学べるのかといった点を明確にした方が良かったという反省があります。以上でございます。
堀口委員	今年行った内容の反省等を通して、また来年につなげていただければと思います。
学校教育課長	昨年度も小学生が非常に多く中学生が13名ということから、小学校の枠を4コマ、中学校を2コマとしました。その応募数によって今年度は小学校を5コマ、中学校を1コマに変更したのですが、それでも数が少なかったということで、今回の反省を踏まえて、また来年度に生かしていきたいと思っております。
堀口委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	30ページの科学館関連団体等の利用について、館林市テレスコープメイ

会議の経過	
向井千秋記念子ども科学館長	キングクラスという団体が3日から31日まで随分多く活動されていますが、どのような方が会員になっているのか教えていただきたいと思います。
教育長	はい、教育長。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
金子委員	お答えいたします。こちらにつきましては、元小中学校教員で科学館にて勤務経験のある方が中心となって活動しております。中には同じく科学館で勤務経験のある元市役所職員や市内ALT、また、学生ボランティアから会員になった高校生もおります。シニア世代を中心に現役世代もおりまして、幅広い年齢層が所属しております。当団体についてはボランティア友の会の団体会員として登録しております。活動内容につきましては、天体望遠鏡の製作を中心に、科学館の夜間天体観望会及び公民館や学校の天体観望会においてボランティア活動を行っております。以上です。
向井千秋記念子ども科学館長	わかりました。どのような団体かわからなかったのでネット検索してみましたら、検索結果にすぐ出てきました。内容を拝見しまして、子どもたちではできないような活動なのかなと思い年齢をお聞きしましたが、お話を聞いて納得しました。この方々は無償ボランティアなのでしょうか。
金子委員	科学館の夜間天体観望会、あとは各公民館や学校で天体観望会を行うのですが、こちらは全て無償で行っております。天体望遠鏡作りについては実際には費用もかかりますので、材料代を頂いて製作しています。こちらも大体材料費の方が完成までに2、3万円かかるということです。天体望遠鏡を買うとなるとその10倍ほどはかかると思いますので、やはりそれを自分たちで作っていく、また、望遠鏡の仕組みを学ぶことで見方なども変わってきますので、大変すばらしい取組だと当館でも思っております。本当にボランティアに来ていただいて助かっております。以上です。
向井千秋記念子ども科学館長	せっかくこのような方々が集まっているのでしたら、もっとたくさんの方にも知っていただきたいですね。これからちょうど星が綺麗に見える時期になりますから、そういった呼びかけも積極的にしていただければと思います。
	こちらの活動につきましては、毎月第2土曜日以外の第1・第3・第4土曜日に午後1時半から活動しております。作っている様子を見学することもできますし、その際に質問するといろいろ答えていただけますので、もしよろしければお越しいただければと思います。当館の実験室と工作室を中心に活動しているのですが、そちらにもポスターを貼っておりますので、多くの方に関心を持っていただければと思います。以上です。

会議の経過	
金子委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	15ページの適応指導教室について、8月は通級人数が6人とあります。2学期が始まってから1か月ほど経過しましたが、通級人数の変化、また、教育支援センターとして2学期の不登校対策や取組などがあれば教えていただきたいと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	人数の増減はありませんが、10月1日に見学者の予定がありますので、その子どもが見学して入級するようであれば、1人増えるような形になります。また、今後の取組についてですが、現在各学校にコンサルテーションということで訪問させていただいております。その中で、2学期の不登校問題の改善に向けた協議等を行っております。また、引き続きの取組として、心の教室相談員の連絡協議会では、各スクールカウンセラーを講師として研修を積んでおります。また、明日へのいっぽという保護者対象の相談会においては、当初学校を通しての申込みだったものを研究所への直接申込み又は当日申込みも可能に変更したところ、前回は2名だった参加者が今回は5名となりました。終わった時にはとても晴れやかな表情をされていました。また、ふれあい教室の担任の参観授業では、今までは子どもたちの様子を見てもらっていたのですが、今回は子どもと担任の先生で何かを作る作業を一緒にするような、そのようなことを通して会話を含めてより実りのある参観授業にしたいと考えています。また、1 Day Walkのような1日出かける行事についても、子どもたちの関心が高まるような様々な所に出かけたり、体験活動なども取り入れたりしております。10月23日のうどん作りでは委員にもご協力いただきます。よろしく願いいたします。以上でございます。
栗原委員	通級人数はほとんど中学生ということでよろしいですか。
学校教育課長	小学生もおります。
栗原委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	18ページにある埋蔵文化財の発掘に関することで、こちらの苗木遺跡で

会議の経過	
文化振興課長	何か発見があったかどうか教えていただければと思います。
教育長	はい、教育長。
文化振興課長	はい、文化振興課長。
	まず、苗木遺跡の場所を確認させてもらいますと、122号バイパス西側の総合福祉センターと近藤沼を直線で結ぶと真ん中辺りに汚水処理場があるのですが、その近くの農地になります。今回の調査も試掘ですので、トレンチを2本ほど掘りました。そうしましたら、古墳時代のものと思われる住居跡が3軒ほど確認できました。台の付いたかめの一部ですとか、底の部分に穴が開けられた壺など、そういった遺物が発見されました。これらの形状等から、古墳時代前期から中期の物と考えられております。どちらもまだ形状がすごくしっかりしていて、非常に見応えのある土器が発見されております。今整理中ですので、まとまりましたら資料としてまた報告させてもらえればと思っております。今回の試掘で確認できた遺物の量は、大体収納ケース3箱分ということでした。ただ、この農地は太陽光パネルを設置するということで今回調査を行ったのですが、大きな基礎は敷設しないということもあったので住居跡の遺構はそのまま埋め戻しをして、現地にそのまま保存する形をとらせていただいております。以上です。
木戸委員	そういった試掘をされていて今回のケースよりももっと重大な遺物が出た場合は、予定していた工事が止まったり、中止になったりすることも可能性としてあるのでしょうか。
文化振興課長	館林市の場合はあまりないのですが、場所によってはきっちりと調査をするケースも何年かに1回はあるようです。私が課長になってからはまだ1回もないのですが、その場合は少し工期が延びてしまうようなこともあると聞いております。
木戸委員	わかりました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	27ページの城沼市民プール利用状況について、利用者・使用料金ともに前年度よりも減少傾向となっております。来年度に向けた集客策や、イベント開催等を今後検討することはあるのでしょうか。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	お答えいたします。来年度に向けた集客イベント等につきまして、過去には水中かるた大会などを開催したこともありますが、現状では新たなイ

会議の経過

	ベントは考えておりません。来年度に向けては、引き続きプール本体の安全安心な運営を第一に、7月上旬に開催される中学生対象の中体連大会、8月上旬に市民対象の館林市水泳大会、下旬に中体連新人大会などがございますので、そういった大会の開催に向けて設備の維持管理等に努めていきたいと考えております。以上です。
堀口委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	34ページの図書館ですが、16ミリフィルムが8月に22本貸し出されています。内容的にはどのようなものが貸し出されているのか、また、借りる団体等を教えていただければと思います。
図書館長	はい、教育長。
教育長	はい、図書館長。
図書館長	お答えいたします。若干回答が前後してしまうのですが、まず団体につきましては、西児童館と赤羽児童館、渡瀬公民館、大島公民館になります。なお、渡瀬公民館につきましては本番前のお試し試写会という形で1回借りていますので、カウント的には5回貸し出した形になっております。その内容といたしましては、児童館はミッキーマウスやアンパンマン、ムーミンなど全般的にアニメーション作品が多いです。とんち話など子どもたちが楽しめる内容にプラスしまして、西児童館では地球誕生や伝統のお話といった少し学びが入った作品を借りられています。大島公民館につきましては、忍たま乱太郎の交通安全教室や原爆の犠牲となった女の子とお地蔵さんの物語を描いた「おこりじぞう」という作品など、学びを中心としたものが多いです。渡瀬公民館では、ミッキーマウスやムーミンのほか、安政南海地震の津波による出来事を基にした「稲むらの火」という作品や、戦争の犠牲となった子どもたちを描いた「十六地蔵物語」など、やや楽しみの多い作品と学び要素のある作品を半々で借りられているという形になっております。以上です。
栗原委員	こちらは無料で貸し出されているのですか。
図書館長	無料で貸し出しております。
栗原委員	理解しました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。

会議の経過

金子委員	渡瀬公民館で行われていた16ミリ映写機の上映会に行ってきたのですが、通常の映画とは違ってゆっくりした時間の流れが感じられて、非常に心温まるものがありました。今のアニメーションなどを子どもたちと観ていると線が尖っている印象があるのですが、公民館で観た作品では登場人物たちが子どもたちの好きな丸で描かれていて柔らかな印象がありました。ぜひ子どもたちに観てもらいたいと思いますし、大人が観てもほっとして心が穏やかになるので本当におすすめです。よく開催してくださったなと思いました。次회가11月にあるのですが、ぜひまた行きたいと思っているほどです。公民館だけではなく、読み聞かせをしている図書館でも子どもたちのために上映するのも良いかなと思いました。以上です。
図書館長	はい、教育長。
教育長	はい、図書館長。
図書館長	ありがとうございます。16ミリはよく「懐かしい」と表現していただきます。懐かしいという感覚は私たちの年代であって、今の子どもたちには恐らく懐かしさはないのかもしれませんが、それでもご指摘のとおり、カラカラと音を立てながら映し出すのはやはり独特の雰囲気を持っているのかなと思います。ただ、なかなか新しい機材が手に入らないということと、作品そのものも今図書館に保存している物しかないものですから、保存が一番の課題になっております。部品等もなかなか取り寄せることができない物もありますので、できるだけ今ある機材をご利用いただくという形に今後なっていくのかなと思います。図書館では元々子ども映画会という事業をやっていたのですが、だんだん子どもたちの参加が少なくなっていくものですから、何らかのイベントに絡めて16ミリの映写会を行ってはいます。資格を持っている方も限られてきてしまうのかなというところもあるのですが、そういった形で各公民館や児童館の事業で活用していただくという部分と、図書館でも機会があればまたそういった映写会等を行っていただきたいと思います。
金子委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	16ページの小学生と中学生の芸術鑑賞教室をそれぞれ観に行ったのですが、とても良い内容でした。感想なのですが、小学生の方の演劇を行った会場が大ホールだったので少しセリフが聞こえにくい箇所がありまして、内容がすばらしかっただけにその点が少々残念かなと思いました。

会議の経過	
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	芸術鑑賞教室にお越しいただきありがとうございました。この日は「銀河鉄道の夜」の上演でして、小学校４年生と６年生の児童を対象とした教室になっていました。ご指摘のセリフが聞きにくいという点ですが、確かに私も少々そのように感じました。私は午後の部の様子を観に行ったのですが、時間帯も悪かったのでしょうか、後ろの方に座っている児童は後半集中していなかったような様子が見受けられました。前の方に座っていた児童は熱心に鑑賞していたのですが、後ろに座っている子は少し落ち着きがなかったかなと感じましたので、やはりセリフの影響もあったのかもしれない。また、宮沢賢治のファンタジーの世界が子どもたちには少し難しかったのかなという印象を受けました。今後はストーリー展開がわかりやすく、誰でも知っているような物語やミュージカル的な演目の方が子どもたちもわかりやすくいいのかなとも思いました。こちらの演目は学校の先生方と一緒に決めているものですから、相談しながら来年度以降検討していければと思っております。以上です。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。 (委員から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程第５ 議事に入ります。 報告第４号 館林市教育委員会教育長職務代理者の指名についてを議題といたします。このことについて、事務局から説明願います。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	教育長職務代理者につきましては、現在、木戸委員にお願いをしております。任期は昨年１０月１日から今年９月３０日までの１年間であり、したがって、１０月１日以降の教育長職務代理者を新たに選任する必要があります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１３条第２項では、教育長に事故があるとき、または教育長が欠けたときは、教育長があらかじめ指名する委員がその職務を行う旨が規定されております。このようなことから、川島教育長の方から教育長職務代理者の指名を

会議の経過	
教育長	お願いしたいと思います。以上でございます。 それでは、事務局から説明がありましたように、教育長職務代理者を指名します。 報告第4号 館林市教育委員会教育長職務代理者の指名について。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、館林市教育委員会教育長職務代理者を指名するものとする。ただし、館林市教育委員会教育長職務代理者の任期は、令和6年10月1日から令和7年9月30日までとする。 読み上げましたとおり、栗原委員を指名いたします。栗原委員、いかがでしょうか。
栗原委員	ただいま、ご指名いただきました。教育長職務代理者をお受けしたいと思います。教育長の職務代理者は、いざというときに事務局のトップとして実際に事務全般を見なくてはなりません。非常勤である私が、毎日事務局の事務を指揮監督することは現実的には難しいと思います。大切な教育行政を1日たりとも停滞させることは許されませんので、私が職務代理者として行う職務のうち、具体的な事務の執行の部分については従前と同様に教育次長、次に、教育総務課長の順に委任したいと思います。
教育長	お受けいただきありがとうございます。栗原委員からお話のありました、具体的な事務の執行を事務局職員に委任するという件について、その際は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第4項に基づき、事務局をお願いいたします。教育次長、よろしいでしょうか。
教育次長	はい、そのようにさせていただきます。
教育長	それでは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に定める教育長職務代理者として、栗原委員を選任いたします。また、栗原委員の申し出により、具体的な事務の執行の部分につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第4項に基づき、その職務を教育次長、次に、教育総務課長にということをこの会議をもって委任することとします。それでは、栗原委員よりごあいさつをお願いいたします。
栗原委員	ただいま、教育長職務代理者の指名を受けました、栗原でございます。微力ではありますが、精一杯やっていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
教育長	ありがとうございました。よろしくお願いいたします。以上で、報告第4号を終了いたします。 次に、議案第55号 館林市立図書館協議会委員の委嘱についてを議題とします。このことについて説明をお願いします。

会議の経過	
図書館長	(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 図書館協議会委員の任期は2年であり、令和6年9月30日の任期満了に伴い、委嘱しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。
	(委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。
	(委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、議案第56号 館林市奨学資金貸与に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とします。このことについて説明をお願いします。
教育総務課長	(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 奨学資金の充実及び利用者の利便性向上を図るため、本規則の一部を改正しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	大学生に5万円ということで1万円ほど増額するようですが、具体的にはいつから適用になるのですか。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	こちらは今回お貸しする令和7年度貸与者からということになりますが、現在貸与されている方にも現行の3万9,900円から5万円に上がる旨ご案内しまして、増額の希望をお聞きしたいと思います。希望があればそこからは5万円で貸与して、令和7年度からそのようにしていきたいと考えております。以上でございます。
栗原委員	令和7年度から適用されるということですね。理解しました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
	(委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。

会議の経過	
教育長	(委員から「異議なし」の声あり) 異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。
学校給食センター所長	次に、議案第57号 館林市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。 (別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 学校給食の食材価格の高騰に伴い、学校給食費の額の一部を改正しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。
教育長	(委員から「なし」の声あり) それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。
教育長	(委員から「異議なし」の声あり) 異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。
教育長	次に、報告第5号から議案第59号までにつきましては、館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。
教育長	(委員から「異議なし」の声あり) 異議なしと認め、ただいまから教育委員会を非公開とします。該当者については、一時退室を願います。
	【傍聴人 退室】
教育長	それでは、報告第5号 館林市教育委員会事務局人事についてを報告いたします。このことについて説明をお願いします。
教育次長	(別紙資料に基づき説明)
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑がありましたらお願いします。
教育長	(委員から「なし」の声あり) 以上で、報告第5号を終了いたします。
生涯学習課長	次に、議案第58号 令和6年度教育委員会表彰についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。 (別紙資料に基づき説明)

会議の経過	
教育長	提案理由等：本市の社会教育の振興と発展及び生涯学習の推進に 功労のあった個人を表彰しようとするものである。 ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたら お願いします。
教育長	(委員から「なし」の声あり) それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するも のとしてよろしいでしょうか。
教育長	(委員から「異議なし」の声あり) 異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 ここで、事務局対象者の退室を求めます。 【事務局対象者 退室】 (非公開) 【傍聴人及び事務局対象者 入室】
教育長	次に、日程第6 その他で何かございますか。 (委員等から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。 これにて教育委員会を閉会します。(午後4時36分)